

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課
担当課長名：春田 義信

事業名	あかきなかさり 市道 赤木名笠利線	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県																
起終点	起点：鹿児島県奄美市笠利町外金久 終点：鹿児島県奄美市笠利町外金久	延長	1.9 km																		
事業概要	<p>奄美市道赤木名笠利線は、奄美大島の北部に位置し、笠利地区と、奄美市笠利総合支所や大島北高校のある赤木名地区を連結し、奄美市の農水産物の輸送ならびに通勤・通学の路線として重要な幹線道路である。しかしながら、本路線は、急峻な山地を通過していることから、道路線形が悪く、幅員狭小な箇所も連続し交通に支障をきたしている。そのため、安全で円滑な交通の確保を図り、地域振興の発展に資することを目的として道路整備を行うものである。</p>																				
H9年度事業化	未都市計画決定	H9年度用地着手	H9年度工事着手																		
全体事業費	21億円	事業進捗率	96%	供用済延長	1.7 km																
計画交通量	800台/日																				
費用対効果分析結果	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>B/C</td> <td>(事業全体) 1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業) 2.4</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.0		(残事業) 2.4	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>総費用</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.79/25億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（事業費：0.77/25億円 維持管理費：0.02/0.21億）</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		0.79/25億円	（事業費：0.77/25億円 維持管理費：0.02/0.21億）		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>総便益</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.9/26億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（走行時間短縮便益：1.9/25億円 走行費用減少便益：0.00/0.75億円 交通事故減少便益：0.00/0.08億円）</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		1.9/26億円	（走行時間短縮便益：1.9/25億円 走行費用減少便益：0.00/0.75億円 交通事故減少便益：0.00/0.08億円）		基準年	平成19年
B/C	(事業全体) 1.0																				
	(残事業) 2.4																				
総費用	(残事業)/(事業全体)																				
	0.79/25億円																				
（事業費：0.77/25億円 維持管理費：0.02/0.21億）																					
総便益	(残事業)/(事業全体)																				
	1.9/26億円																				
（走行時間短縮便益：1.9/25億円 走行費用減少便益：0.00/0.75億円 交通事故減少便益：0.00/0.08億円）																					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消 W=3.0m） 農林水産品の流通の利便性の向上（さとうきび：笠利地区→製糖工場、魚類：大笠利港→笠利魚協） <p>他2項目に該当</p>																				
関係する地方公共団体等の意見	<p>奄美市道赤木名笠利線は、西海岸の奄美市笠利総合支所ならびに公共公益施設のある赤木名地区と東海岸の笠利地区を連結しており、奄美市の海・農産物の輸送ならびに通勤・通学路としてのアクセス向上など、地域交流促進が図れるため地元は早急な整備を望んでいる。</p>																				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし																				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収については完了し1.7 kmの部分供用を行っている。																				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地は完了しているものの、工事施工中の法面に地滑りが発生したことから、対策工の調査・検討に時間を要した。今後、法面对策工の整備を進めて平成20年度内の供用を図る予定である。																				
施設の構造や工法の変更等	工事で発生する残土を近隣の道路事業等への流用し、資源の有効利用とコスト縮減を図った。																				
対応方針	事業継続																				
対応方針決定の理由	以上状況を勘案すれば当初から事業の必要性重要性は変わらないと考えられる。																				
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> <table border="1" style="font-size: x-small; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>■</td><td>供用中</td></tr> <tr><td>■</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>▨</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>▨</td><td>うち供用中</td></tr> </table> </div> </div>					凡 例		■	供用中	■	事業中	▨	再評価箇所	▨	うち供用中						
凡 例																					
■	供用中																				
■	事業中																				
▨	再評価箇所																				
▨	うち供用中																				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。